

- 第80回 記念新事業創出研究会（東京アース研究会との合同研究会） 16日（木）
第53回「産学官交流」講演会・交流会（県立大） 24日（金）
第2回「バイオマスセミナー」会議所木材合板部会・建設部会・機構主催 28日（火）

「要 旨」

1、第80回記念創出研究会（東京アース研究会と合同）於：東京八重洲 16日（木）

出席 清水研究会22人、（企業13人 / 10社、特別会員2人、CO ad3人、事務局4人）
アース研究会 約40人。

時刻 13:00～19:30

場所 研究会：東京八重洲ホール、懇親会：四川亭

清水からバスをチャーターして参加した。

中西会長挨拶、両研究会参加者紹介の後、会長講演と研究発表6件を行った。例会終了後四川亭で2時間の懇親会をおこなった。

1) 会長講演「先進的植物工場」

先進的植物工場のコンセプトは、C 2削減の環境優先、省エネ、未活用資源の利用等である。雑菌制御や微生物を活用し、栽培植物の選択（健康・栄養・味・薬用・貴重さ等）をすること。植物工場の要素技術には、遮熱性、防カビ性・防藻性、光源等がある。

2) 研究発表：

(1)「変わることの難しさ」：アース研究会副会長 柏崎進氏

環境変化に対応できなかったかGMは破綻した。企業のトップは人は変わらないとの認識の上で、組織の中で自ら変わる（成長する）努力をすべきである。人は高齢になるほど変わらないが成長は出来る。

(2)「共同研究契約のチェックリスト」：（アース研究会）吉田国際特許事務所所長 吉田芳春氏
「共同研究」契約について、不適切な具体的文言事例が示された。知財組織が整備されている大企業と組む場合の留意点が指摘された。特許申請文章は、自分が不利にならないよう十分に吟味すること。発明協会主催の「特許侵害警告模擬研修」（東京 9/11、名古屋 10/16 開催、）の紹介もあった。

(3)「ペルチエ素子を使った新冷蔵庫装置」：（しみず新産業・アース研究会）

大日工業株式会社 川瀬昌之氏

トラックのアイドリング禁止による運転者の仮眠環境維持の研究を、昨年度静岡市の助成金を得て進めた。カーエアコンを使用しない方式で、電気を発熱・冷却エネルギーに変えるペルチエ素子と、スパイラルヒートシンクを組み合わせる方式を提案。デモ機を披露した。

(4)「試験用機器の紹介」：（しみず新産業）榊望月鉄工所社長 望月保延氏

しみず創出研究会で提起された課題を形にした3例を紹介した。 果実の果肉付き種の分離装

置「梅種処理機」粉粒体の均等送出装置「給餌器」 スパイラルフラッドバーによる「混練器」の試験用機器。販売や利用についての意見を乞う。

- (5)「**マガロの陸上養殖について**」:(しみず新産業)WHA㈱執行役員 廣川明国氏
東海大学海洋学部水産学科秋山研究室と、共同で進めている三保の地下水海水を利用した、「まぐるの陸上養殖研究」を紹介した。
- (6)「**駿河湾新事業創出プロジェクト成果発表**」:(清水商工会議所)室長 赤堀弘英氏
商工会議所が「産学連携」のため資金調達や研究機関とのコーディネートを進めている例は多くない。清水商工会議所はその数少ない1つであり、「しみず新産業開発振興機構」や「しみず新事業創出研究会」「駿河湾新事業推進研究会」の活動内容・地域大学との関わりを、具体的事例を挙げ説明した。市からの助成金をベースに、国・県の補助事業への応募・申請コーディネート業務や「美アスタ」「スプラウト」等の商品事業化状況を紹介した。また「スプラウト」と「美アスタ」をアース研究会会員に配布した。

3) 交流懇親会

清水・東京の参加者で近くの中華料理店で懇親会をもった。

帰途：東京発19：40、清水着22：20

2、その他 事務局

- 1) 企業・大学訪問 事務局
- 2) 各種補助金申請応募作業
- (1)「先進的植物工場施設整備費補助金」 経済産業省 (申請者：静岡県立大学)
コンテナ利用による植物工場、(県立大・田島農園に設置) 予算約6億円。採択 9月。
- (2) A・STEP (JST: 科学技術振興機構) F S申請 (申請者：富士見工業㈱・静岡大学)
イチゴ炭疽病抑制堆肥の開発 予算約1千万円、採択9月下旬
- 3) イチゴ炭疽病に関する特許「農業用資材」を出願した。(特願2009-163582)
発明者:(静大)徳山真治(富士見工業)金田雄二・工藤 稔(機構)中西幹育・小林文男
出願人：富士見工業㈱、清水商工会議所
- 4) 会合出席
- (1) 植物工場シンポジウム・交流会「躍進する植物工場」於：東京大学農学部弥生講堂
7月23日(木) 森田、赤堀 参加
- (2) 21年度第1回「フードサイエンスセミナー・交流会：地域資源の活用とビジネスの創出」
於：清水商工会議所 7月23日(木) 白澤、久能、相磯 参加
- (4) 静大18回共同研究希望テーマ説明会(食品・環境・バイオ分野)
於：ピネスト 7月30日(木) 白澤 参加

- 3、「木質バイオマスビジネスの現状と可能性」 商工会議所木材合板部会・建設部会・
開発振興機構主催 7月28日(火) 講師：ヒラテ技研㈱ 杉山 智 氏
於：会議所3F、参加 35人

これは木材合板部会の発案で前回（2月）は「バイオマスタウン」について、県環境資源協会平井氏から静岡県内自治体の取り組み状況について講演を聞いた。今回はエネルギー関連のコンサル業務を展開しているヒラテ技研の杉山氏から、木質バイオマスの実施例に採算や状況について具体的な話を聞いた。木材合板・建設部会の会員が参加した。今後講演会だけでなく見学会なども行いシリーズ化して行く。

4、第53回「産学官交流」講演会・交流会（24日・木）静岡県立大学 参加35人

1)「プラスチックの意外な世界」 環境科学研究所 坂口真人 教授

プラスチック等の高分子素材が機械的破壊を受けた場合の、素材表面の分子レベルでの変化について、解説した。実用レベルでのプラスチックの表面改質（塗装など）に関連する基礎的研究である。

2)「微生物によるレアメタルの回収」 環境科学研究所 谷幸則 准教授

「産業のビタミン」と言われるレアメタルは、枯渇問題が現実化し、回収方法が世界的に注目されている。日本は「都市鉱山国」で希少金属大国であり、リサイクル手段確立が急務である。本研究では、マンガンを酸化し微生物による回収技術を検証した安倍川水系での結果を報告した。

5、二渡コーディネーターコメント

中西会長が指導しているア・ス研究会（全国の有力企業有志参加、東京）との合同研究会が7・16開催された。両者から研究状況の報告があり、真剣な討議が行われた。内容の濃い有意義な行事で、当方の参加者にとって貴重な体験であった。

10月に清水で2回目の研究会を行う約束も決まり、成果を期待している。このような催しは大変珍しく、中西会長のリーダーシップにあらためて敬意と感謝を申し上げる次第である。

6、今後の予定

	7月	8月	9月
創出研究会			1日
「産学官交流」講演会			（東海大）25日

以上